2　地理歴史・公民

学校番号	303

平成３１年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　新現代社会」(第一学習社)						
副教材等	無						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

講義にあたって、中学校公民的分野と関連づけて、学習内容に興味と関心を持たせる。教材と直結した時事問題にも触れ、今後の学習に役立つように問題の提起をする。グループワーク・コの字型机配置を活用し活発な意見交換を行う。

2　学習の到達目標

・現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに現代社会に対する判断力の基礎と人間の生き方について考える力を養うと同時に公民としての素養を身につける。
・グローバル化が進む現代社会に生きる日本人としてのあり方について考える。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間の関わる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄を見いだし，社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，資料を正確に読み取る力や効果的に活用する力を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間の在り方生き方とに関わる基本的な事柄や，学び方を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート 授業態度	ワークシート 授業態度	ワークシート 授業態度	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代社会の諸課題	第1編　私たちの生きる社会 世界のさまざまな課題 1. 環境と私たちの生活 ①地球環境のいま(1) ②地球環境のいま(2) ③私たちの地球を守るために	○	○ ○	○	○ ○	a 地球環境問題について，望ましい社会のあり方や自己の生き方と関連させて意欲的に考察しようとしている。 b 地球環境問題について，それらの背景や影響などを多面的・多角的に考察している。 c 地球環境問題に関する課題について，教科書記載の図や年表，写真等を適切に活用している。 d 地球環境問題の内容や性格，背景などについて理解し，その知識を身に付けている。	授業態度 提出課題 定期考査
	資源・エネルギー問題と私たちの生活	①限りある資源 ②資源問題の解決をめざして	○	○	○	○ ○	a 資源・エネルギー問題の背景，対策等に関心を持ち，意欲的に追究しようとしている。 b 資源・エネルギー問題について，それらの背景や影響などを多面的・多角的に考察している。 c 資源・エネルギー問題に関する課題について，教科書記載の図や年表，写真等を適切に活用している。 d 資源・エネルギー問題の内容や性格，背景などについて理解し，その知識を身に付けている。	授業態度 提出課題 定期考査
	科学技術の発達と私たちの生命	①科学技術の発達と生命 ②生命倫理をめぐる問題	○	○	○	○	a 科学技術の発達が，人々の生活に様々な利便性をもたらすと同時に，倫理的な課題をもたらしていることに関心を持ち，意欲的に追究しようとしている。 b 科学技術の発達が，なぜ新たな倫理的課題をもたらしたのか，生命倫理の観点から考察している。 c 科学技術の発達と生命に関する課題について，教科書記載の図や写真を適切に活用している。 d 科学技術の発達と生命に関わる課題の内容や性格，影響などについて理解し，その知識を身に付けている。	授業態度 提出課題 定期考査

	高度情報社会と私たちの生活	①情報の高度化の進展 ②高度情報社会の課題	○ ○	 ○	○ ○	○	a 情報化の進展がもたらしている社会や生活の変化について関心を持ち，意欲的に追究しようとしている。 b 情報化の進展がもたらしている社会や生活の変化と課題について，多面的・多角的に考察している。 c 必要な諸資料を，書籍や新聞，インターネットなど様々なメディアを通じて適切に収集している。 d 情報化の進展とコミュニケーション様式の変化，ＩＣＴの革新に伴う社会の変化について理解し，その知識を習得している。	授業態度 提出課題 定期考査
	現代社会と人間としてのあり方生き方	第１章　青年期と自己の形成 私たちの一日と青年期 ①青年期とは ②青年期を充実させるために ③伝統や文化とのかかわり ④祭りと年中行事 ⑤社会とのかかわり ⑥私たちの生きがい	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a 現代の青年期の特色やアイデンティティの確立の意義について，自分自身の課題として考え，追究しようとしている。 b 青年期の特徴やアイデンティティの意味について自らの生き方の視点も含めて考察している。 c 教科書記載のフラストレーション反応や防衛機制、年中行事の図を活用し，理解や考察を深めようとしている。 d 人生における青年期の意義とともに，現代における青年期の特徴を，心理的・社会的モラトリアム等の用語を手掛かりに理解している。	授業態度 提出課題 定期考査
1学期	個人の尊重と法の支配	私たちの一生と法 ①個人と国家 ②法の支配 ③基本的人権の保障 ④世界の政治体制	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	a 民主政治の成立に際して，どのような思想や考え方があったのか，関心を持って意欲的に考えようとしている。 b 民主政治の成立における，社会契約説の意義や権力分立の考え方，法の支配などの意義について，歴史的経過も視野に入れながら考察している。 c 教科書記載の社会契約説の資料やフランス人権宣言，人権保障の歩みなどの資料を適切に読み取り，適切に活用している。 d 民主政治の成立の歴史や原理，基本的人権の歴史的展開について理解し，民主政治に関する基礎的な知識を身に付けている。	授業態度 提出課題 定期考査

	現代の民主政治と政治参加の意義	①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と日本の安全保障 ③冷戦終結後の防衛問題 ④平等に生きる権利 ⑤自由に生きる権利 ⑥豊かに生きる権利 ⑦新しい人権 ⑧基本的人権と公共の福祉	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a 日本国憲法の原理及び日本国憲法が果たしている日本の政治における役割や意義について，関心を高め，意欲的に考えようとしている。 b 理解したこと，考察したこと，関心を持ったことなどを適切な方法で表現している。 c 日本国憲法の性格や基本原理の学習に際して，教科書の図や年表などを適切に活用している。 d 日本国憲法に規定する基本的人権の意義と内容を理解するとともに，それが実際の社会生活とどのようにかかわっているのかを把握している。また，新しい人権が要請されている背景とそれらの内容について理解している。	授業態度 提出課題 定期考査
1学期	現代の民主政治と政治参加の意義 国際政治の動向と日本の役割	⑨国会の運営と権限 ⑩内閣と行政の民主化 ⑪裁判所と人権保障	○	 ○	 ○ ○	○ ○	a 国会の仕組みと権限，実際の運営について関心を高め，意欲的に考えようとしている。 b 国政における国会の位置と二院制の意味，両院の関係について，仕組みと機能の観点から考察している。 c 三権分立や国会の組織，法律の成立過程，憲法改正，内閣の権限，行政機構，日本の裁判制度等の教科書記載の図を適切に活用している。 d 国会の国政における位置付けや権限，国会における法律案や予算の審議ルールについて理解し，その知識を身に付けている。	授業態度 提出課題 定期考査
		⑫地方自治と住民の福祉 ⑬選挙制度の現状と課題 ⑭世論の形成と政治参加	○	○ ○	 ○ ○	 ○	a 地方自治の民主主義における意義について関心を高め，地方公共団体の政治の仕組みや国政と地方自治との関係などについて意欲的に考えようとしている。 b 地方自治の本旨がどのように地方公共団体の政治に具体化されているか，身近な視点も含めて考察している。 c 地方自治について，教科書記載の統計資料や図を適切に活用して，効果的に学習を進めている。 d 地方自治について，地方公共団体の組織と権限，地方自治と国政の関連などに理解し，その知識を身に付けている。	授業態度 提出課題 定期考査

2学期		国際政治の動向と私たちにできること ①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③第二次世界大戦後の国際社会 ④冷戦終結後の国際社会 ⑤核兵器の廃絶と国際平和	 ○ ○	 ○ 	 ○ ○	 ○	a 国連の成立などの事象について理解しようとしている。 b 主権国家とはどのようなものか，国際社会における国際法の役割と限界について考察している。 c 第二次世界大戦後の国際社会と冷戦終結前後の国際社会の状況について，年表を使って整理し，理解する。 d 核兵器を廃絶するためにどのような取り組みがおこなわれているか，また，国際平和のために何をしなければならないか，さまざまな情報手段を活用して調べ，まとめる。	授業態度 提出課題 定期考査
2学期	国際政治の動向と日本の役割 現代の経済社会と私たちの生活	⑥地域紛争と人種・民族問題 ⑦国境と領土問題 ⑧日本の役割と私たちの生き方	○ ○ 	 ○ ○	 ○	○ ○	a 民族や宗教の対立による紛争にはどのようなものがあるか，人種・民族紛争の実態，難民問題について理解する。 b 国境と領土問題や日本の領土問題について，教科書の写真・地図を使用して理解している。 c 日本の外交の基本方針を理解し，アジアの一員としての日本の役割について考えている。 d 国際社会における日本の役割，国際社会の一員として何をすべきかを理解している。	授業態度 提出課題 定期考査
		私たちの町と経済 ①経済と私たちの生活 ②経済体制の変容 ③現代の企業 ④市場のしくみ ⑤国民所得と私たちの生活 ⑥景気変動と物価の動き	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○	a 私たちの生活と密接にかかわる経済について、考え、理解しようとしている。 b 各主体の社会的責任について理解し，株式会社の特徴についてまとめる。 c 国民所得について，教科書に掲載されている図版を適切に使用している。 d 景気変動など、さまざまな経済事象について理解している。	授業態度 提出課題 定期考査

		⑦財政のしくみと税金 ⑧日本の財政の課題 ⑨金融機関のはたらき ⑩戦後日本経済のあゆみ(1) ⑪戦後日本経済のあゆみ(2) ⑫技術革新の進展と産業構造の変化 ⑬中小企業の現状と役割 ⑭食の安全とこれからの日本の農業	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ 	a 現代経済において政府の役割が求められる背景について関心を持ち，また，税制について身近な事例を手掛かりに関心を高め，追究しようとしている。 b 理解したこと，考察したこと，関心を持ったことなどを適切な方法で表現している。 c 経済の循環や株式会社のしくみ，さまざまな価格の動き，私的費用と社会的費用など，教科書記載の図を適切に活用して理解を深めている。 d 通貨価値の安定や景気安定のための金融政策や金融の自由化などの動きについて理解するとともに，財政の役割や財政政策について理解している。	授業態度 提出課題 定期考査
2学期		⑮雇用と労働問題 ⑯労働環境の整備 ⑰公害の防止から環境保全へ ⑱消費者問題と消費者主権 ⑲社会保障と福祉社会 ⑳これからの社会保障	○ ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○	a 消費者契約の特性と消費者保護が課題になる背景，及び消費者保護政策，近年の消費者問題について関心が高まっており、また、労働三権の意義，労働三法の具体的な内容について関心を持ち，意欲的に追究しようとしている。 b 情報の非対称性と消費者主権や消費者の権利との関連，クーリングオフ制度や製造物責任の考え方について考察している。 c 社会保障制度の概要や歴史的変遷，公的年金制度の仕組みについて理解するために，教科書記載の図版や年表を適切に活用している。 d 消費社会の進展の中で消費者主権や消費者の権利が必要とされる背景，消費者保護行政や関連する法律の意義について理解し，その知識を習得している。	授業態度 提出課題 定期考査

	国際経済の動向と日本の役割	国際経済の動向と私たちにできること ①国際分業と貿易 ②国際経済体制のあゆみ ③国際収支と為替相場 ④国際経済の動向 ⑤進む地域的経済統合 ⑥発展途上国の経済と南北問題 ⑦国際社会のこれから	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a 経済における貿易の意義，及び貿易の自由化について国によって利害が異なることについて，関心を持ち追究しようとしている。 b 一国の経済が世界中に影響を及ぼすグローバル化の時代の課題について考察している。 c グローバル化の進展に伴う金融や経済の動きについて理解するために，関連する資料を適切に活用している。 d 経済のグローバル化に伴う国際金融の動向を，リーマン・ショックなどの事例も含めて理解し，その知識を身に付けている。	授業態度 提出課題 定期考査
3学期	民主社会に生きる倫理	私たちの悩みと倫理 ①豊かな人生を求めて ②日本の伝統的な考え方 ③近代の西洋社会に見られる考え方 ④近代市民社会から大衆社会へ ⑤他者とともに生きる ⑥豊かな社会の実現に向けて	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	a 哲学や宗教の役割などについて，人生を豊かに生きるとはどういうことなのかを多角的に考えようとしている。 b 日本の伝統意識を理解し，生活の中での仏教や儒教，西洋思想の影響について，具体的事例をあげて考察する。 c 人間の尊厳や科学的なものの考え方，民主的社会を樹立するために必要な考え方の理解を深めるため，図版や原典資料を適切に使用する。 d 平等な社会の実現には，偏見を取りのぞき，主体的に努力することが求められていることを理解する。	授業態度 提出課題 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

(注)以上は教科書全般を１年間で終了させるという目標のもとに立てた計画であるが、学校の実情やその都度、必要とされる教材におきかえることもありえる。